

栃木県知事 福田 富一様

ダム反対鹿沼市民協議会

会長 廣田 義一

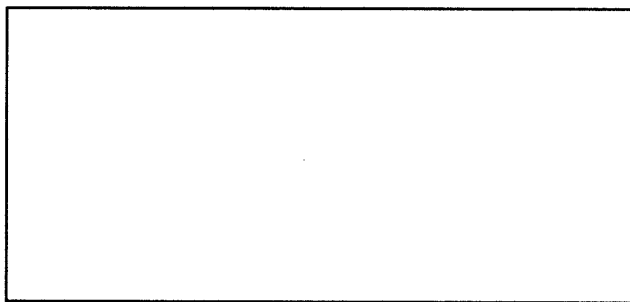
思川開発事業に関する公開質問状

盛夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

思川開発事業の利水問題について下記のとおり質問しますので、8月16日（金）までに下記あて文書でご回答くださるようお願いいたします。

貴職は、県民が納めた税金を使う強大な権限を有しており、他方、私たち県民は日本国憲法によって知る権利を保障されているのですから、十分に説明責任を果たされるようお願いいたします。説明責任を果たされない場合は、別の方法を考えなければなりません。

なお、現在栃木県でダム訴訟が係属していますが、ダム事業への参画に正当性があるのならば、貴職が堂々と説明責任を果たすことによって貴職が敗訴することはないはずです。



記

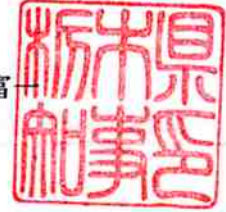
【質問事項】

- 1 2010年以降、栃木県は、栃木県が思川開発事業に利水参画している問題について、国及び独立行政法人水資源機構から代替案を検討するよう要請されていたのですか。
- 2 将来の地下水の利用状況は想定できると思われるにもかかわらず、「栃木県南地域における水道水源確保に関する検討報告書」において将来の地下水の状態を把握することが困難と考えた理由は何ですか。

以上

ダム反対鹿沼市民協議会 会長 廣田 義一 様

栃木県知事 福田 富一



思川開発事業に関する公開質問状について（回答）

平成25年7月29日付けでご質問があった件につきましては、下記のとおり回答致します。

記

○ 質問事項1への回答

県は、平成23年2月1日付け「国関整河環第1012号」及び「22ダ事第128号」にて国土交通省関東地方整備局長及び独立行政法人水資源機構理事長から「思川開発事業の利水参画者の水受給計画の点検・確認、参画継続の意思確認及び利水の代替案の検討について（要請）」という文書を受けています。

○ 質問事項2への回答

地下水利用状況の前提となる地下水量の水位や地下水汚染等の状況は、気象条件や社会経済情勢など様々な要因に左右されるため、将来にわたって予測することは困難と考えています。

砂防水資源課
ダム水資源担当
TEL028-623-2565
FAX028-623-2456